



# 風色ライダー



空 想生

ごあいさつ

---

心の中 風のように駆け抜けてく

言葉たちをつかまえて・・・

そんな感じでつぶやくように  
何もしなかったら消えて行ってしまうそういう「何か」  
残してみようと思いました。

。...空 想生...

2012.7.18

## ちょっと....夏

---

どこか遠くへ置いて来た

そんな気がする

晴れた空

見上げたら 青くて

どこまでも 青くて

流れてく雲と同じ方向に

なびいてく 細い髪

まっ白なワンピースのすそ

恥ずかしそうに押さえる君は

僕の前で 笑ってる

いつか一緒に駆け抜けた

あの風の中

あの日のように

僕の横 駆け抜けてく風

いま 僕は ひとりきり

青い空の下

流れる雲を見上げる僕は

今日もずっとひとりきり

抱えてるものは多分誰もが違ってる。

だけど・・・

だからかな・・・

人は誰でもどこかさびしくて

どこかやさしい。

そんな 風に思ったことがありました。

2012.7.18

熱い風と一緒に駆け抜けてく  
僕らの時間

時々 見上げる太陽は  
憎らしいくらいに 眩しくて

すれ違う人の速度で感じる 風

どこかに君を感じたくて  
僕はあの時と同じ 君の匂いを探すんだ

優しく包んでくれた  
君の投げた 柔らかいタオル

君から僕へ続く  
微かに香る 柔軟剤の風

憎らしいくらい眩しかった太陽だけど  
僕はとっても感謝したんだ

もう 遠い昔になったけど・・・

今でも君は僕の中で  
笑ってる

地上に降りた眩しい 太陽みたいにね・・・。

思い出はふとした時

心の中に浮かんでくるものなのかなって

そんな風に感じた事がありました。

駆け足で過ぎてくような夏の中で

どれほど思い出が作れるのか

ちょっと気になったりも・・・。

ただ 書きなぐっちゃってます。

自分的にただ想うがままに指を走らせてみる・・・

なんとなくそれが楽しいと感じています（笑；

2012.7.19

## 短い時間

---

思い出の中で震えてる

君の瞳

僕の中で揺れてた 小さなほのお

ずっと遠くから 見上げた 幾つもの星

月日を数えるのも

過ぎた時間を数えるのも

「面倒くさいからもうやめた」 って

笑った 僕たち

青い空の下で 追い掛けた 白い雲

駆け抜けてく風の中で 唄った あの日の 恋の歌

僕の大切な思い出の うた

忙しい夏がありました。

ただ 本当に駆け抜けるように過ぎていった時間が  
あったように思ったりして。

自分の思うように行かない事もとにかく沢山あるけど

歌を唄えば何気に気分リセットできたり。  
そんなささやかな時間に幸せを感じたり....

2012.7.20

普段着で.....

---

いろんな事が 僕の中

駆け抜けて行った そんな夏

ただ 考えてた 時間が長かったんだ

君の中で 笑ってた

遠い夏のあの日の僕

今ではもう届かない あの日の声

言葉にできなかった あの日の 僕の心の中

風のように 過ぎて行った 君といた同じ時間に

そこにあった オレンジ色に光る雲

「きっとまた 明日も晴れるよね」

「明日はどうかかわからないけど いつかは晴れるさ」 って

いい加減につぶやいた僕が

懐かしい

そんなことふと思った 短い夕焼け

なんとなく 残してみたかったから  
残してみました。

2012.9.21

ぶざま....でも....

---

ほんとはね

ほんとは 忘れたい

ほんとは 忘れたらいけない

ほんとは わからない

本当の事は わからなくしたい

それが本当のことなのかもしれない

時々 おもう

邪魔な記憶 嫌な過去

されたこと やられたこと 何も かも

なにげに 邪魔な 僕のころ

微笑の天使は

なぜか 嫌味に笑うんだ

嘲笑うように 僕に 微笑む

そんなつまらない 笑顔を 僕に見せないで

邪魔な記憶も

僕には歴史さ

そう思うんだ そう思うこと

それが きっと 本当のこと

辛い思いしながら学校行くことも会社に行く事も  
あると思う。

わかるよ・・・

でも 生き抜いて欲しいって

ただ そう思う。

逃げても負けても 無様でも

とにかくその時 今を生き抜いて欲しいって

思ったりします。

自分もそうだから。

自分もそうやってとにかく 生き抜こうって 思ってるから

とにかく 無様でも人様に笑われても

愚直に生きてみようって それでいいじゃないかって・・・。

自分なりでいいかな。ってさ。

2012.10.4

## 時間....ころ

---

止まらない時の中で 僕が見て来た いつもの景色  
変わらないものは あるの？

風の向きが変わるように  
風の匂いが変わるように

君のころも  
僕のころも

君の姿も  
僕の姿も

変わってく

色付けながら  
向きだって 変えちゃうかも

だけどまっすぐ

しなやかで そして 強くて 優しく  
それでもって 大きくて 広くて

心って  
とても おもしろくて やっかいで 不思議で  
だけどその分 大切に大切な すごく大切  
そういうもの

おもちゃにしちゃいけないって そう思ったんだ

あの日  
傷ついた その時があったから

ひとりで歩いた

そんな寒い夜を 朝を いくつもいくつも越えた気がしました。

過去はあまり語りたくないけど (笑)

やっと 更新ページが開けてよかった。ホッとした昼前です。

2013.7.4 11:50